

基本目標	Ⅱ 男女が輝き活躍できるまちづくり	【達成度】
施策の方針	3 女性の活躍の推進	5 (十分に達成できた) : 目標値の100%以上
取り組みの方向	(1) 女性の人材育成と審議会等への登用の推進	4 (概ね達成できた) : 目標値の80%以上100%未満
		3 (達成まで今一歩) : 目標値の60%以上80%未満
		2 (達成は不十分) : 目標値の60%未満

23	事業名	審議会等における女性の登用推進のための講座の開催	所管課所	男女共同参画支援センター
男女共同参画の視点からの事業目的			手段	
主として女性に、審議会等への参画についての意識を高め、審議会等における女性の登用を推進する。			審議会等への女性の参画を支援するための講座を、人権・男女共同参画推進課と連携して開催する。	
事業の実施内容				
・地域を変えるのは、あなたの「小さな一歩」から 1/20「政治は“トクベツ”じゃない！～あなたの「政治学」はもう始まっている～」(参加人数:19人) ・1/29「審議会の傍聴にチャレンジ！」(参加人数:5人)				
活動実績			取り組みの成果	
【活動指標】 参加率			【成果指標】 満足度	
【目標】 80%			【目標】 80%	
【実績】 95%			【達成度】 5(十分に達成できた)	
募集人数20人、参加者19人(女14人、男5人)			【実績】 78%	
			アンケートの満足・ほぼ満足の合計 「違う切り口から入った政治学は楽しかった。目からウロコだった」などの感想があり、女性参画への意識を高めていただくことができた。	
事業の評価				
A(順調に取り組んでいる)				
<前年度評価> A				
認識した課題			課題解決に向けた対応	
傍聴をするための審議会の選定が難しい。日程や場所などの都合でなかなか決めることができなかった。			第1回目の講座を前倒しで設定し、審議会の開催日程を早めに把握する。審議会の傍聴以外に、審議会へ関心が向けられることができないか検討する。	

24	事業名	審議会等への女性の登用推進	所管課所	人権・男女共同参画推進課
男女共同参画の視点からの事業目的			手段	
市の審議会等における女性の登用を推進する。			行政推進会議及び幹事会で全庁的に働きかけを行う。 審議会委員の改選時期に合わせて、女性の登用について各課に対して個別に働きかけを行う。	
事業の実施内容				
全庁的な男女共同参画推進体制である行政推進会議(部長級で構成)及び幹事会(課長級で構成)において、審議会等への女性の登用について働きかけを行ったほか、審議会等の改選時期に合わせ所管課所の担当者と事前協議を行い、女性の登用促進への配慮を依頼した。				
活動実績			取り組みの成果	
【活動指標】 働きかけの回数			【成果指標】 女性の登用率	
【目標】 —			【目標】 35%	
【実績】 29回			【実績】 33.53%	
行政推進会議及び幹事会での部課長への働きかけの回数と、改選を予定している審議会等を対象とした事前協議の回数				
事業の評価				
B(概ね順調に取り組んでいる)				
<前年度評価> C				
認識した課題			課題解決に向けた対応	
女性の専門家が少ない分野がある。また、あて職ではないが、経験、知識から選出が固定化されてしまっているなど、女性が出選される幅が狭まってしまっている。			選出を依頼する団体に向けたチラシを作成し選出依頼時に配付することで、女性登用の推進の重要性を周知していく。	

基本目標	Ⅱ 男女が輝き活躍できるまちづくり	【達成度】
施策の方針	3 女性の活躍の推進	5（十分に達成できた）：目標値の100%以上
取り組みの方向	(1) 女性の人材育成と審議会等への登用の推進	4（概ね達成できた）：目標値の80%以上100%未満
		3（達成まで今一步）：目標値の60%以上80%未満
		2（達成は不十分）：目標値の60%未満

25	事業名	男女共同参画チャレンジリスト登録者への情報提供	所管課所	人権・男女共同参画推進課
男女共同参画の視点からの事業目的			手段	
市民(チャレンジリスト登録者)に、審議会委員の公募に関する情報提供を行い、審議会等における女性の登用を推進する。			審議会への女性の参画を支援するための講座受講者等のうち、希望者にチャレンジリストに登録してもらい、公募委員を募集する各審議会の情報を提供する。	
事業の実施内容				
審議会等の公募委員へ挑戦することを目的としたチャレンジリスト登録者に対して、毎年発行する「審議会等ガイドブック」を送付し、公募情報の提供を行った。また、登録者への公募委員募集情報の個別送付を希望する審議会等の所管課に対して、同意もらった登録者の情報を提供した。				
活動実績			取り組みの成果	
【活動指標】 登録者数			【成果指標】 登録者のうち年度内に公募委員になった人数	
【目標】 84人			【目標】 13人	
【実績】 84人			【達成度】 3(達成まで今一步)	
内訳:女性64人、男性20人(令和6年4月1日) 新規登録:5人			登録者のうち、年度内に公募委員を務めた人数(令和6年4月1日)	
事業の評価				
C(より積極的な取り組みが必要)				
<前年度評価> C				
認識した課題			課題解決に向けた対応	
登録者の半数以上が70歳以上であり、公募委員へ応募自体が少なくなっていると思われる。			幅広い年代の方に登録いただけるよう周知に努める。	

26	事業名	女性職員の人材育成・登用促進	所管課所	人事課
男女共同参画の視点からの事業目的			手段	
政策決定過程における男女共同参画を推進するため、行政内部においても、女性人材の能力開発、登用を促進する。			女性職員を対象としたエンパワーメント研修等を実施する。	
事業の実施内容				
女性の能力開発・発揮を目的とした「女性職員エンパワーメント研修(女性職員の意識向上、スキルアップ等)」を実施した。(8/9実施)				
活動実績			取り組みの成果	
【活動指標】 女性の能力開発のための研修の受講者数			【成果指標】 職員のうち管理職に占める女性職員の割合	
【目標】 25人			【目標】 23%	
【実績】 29人			【実績】 23%	
【達成度】 5(十分に達成できた)			【達成度】 4(概ね達成できた)	
例年、女性の能力開発・発揮を目的とした研修の受講者の目標値を設け、女性人材の能力開発に努めている。			研修等による継続的なアプローチにより、女性職員の男女共同参画に対する意識向上が図られ、管理職に占める女性職員の割合が増加した。	
事業の評価				
A(順調に取り組んでいる)			エンパワーメント研修では、女性管理職と一般職員との間でディスカッションの場を設けるなど、女性職員の意識向上を図った。	
<前年度評価> A				
認識した課題			課題解決に向けた対応	
特になし。			引き続き、適切に事業を実施する。	

基本目標 II 男女が輝き活躍できるまちづくり  
 施策の方針 3 女性の活躍の推進  
 取り組みの方向 (1) 女性の人材育成と審議会等への登用の推進

【達成度】  
 5（十分に達成できた）：目標値の100%以上  
 4（概ね達成できた）：目標値の80%以上100%未満  
 3（達成まで今一歩）：目標値の60%以上80%未満  
 2（達成は不十分）：目標値の60%未満

27	事業名	女性消防吏員の活躍支援事業	所管課所	消防総務課
男女共同参画の視点からの事業目的			手段	
女性の視点に立って市民へ消防の魅力を広く発信するとともに、男性・女性問わず活躍できる職場づくりを推進し、女性消防吏員のさらなる活躍を通じ、住民サービスの向上や組織の活性化を図る。			女性消防吏員の執務環境の改善や女性が消防職務を継続していくため、柔軟な職域拡大の推進、研修機会の拡大などに取り組み、支援する。	
事業の実施内容				
消防大学校・埼玉県消防学校における実務講習や特別教育研修への女性消防吏員の参加、女性消防吏員講習会や他業種との意見交換会への女性消防吏員の参加など、職域の拡大と女性消防吏員の確保に努めた。				
活動実績			取り組みの成果	
【活動指標】 活動実施回数			【成果指標】 消防吏員に占める女性の割合	
【目標】 8回			【目標】 5%	
【実績】 8回			【実績】 5.2%	
【達成度】 5(十分に達成できた)			【達成度】 5(十分に達成できた)	
【越谷市】市町村合同説明会2人、【消防大学校】女性活躍推進コース1人、【埼玉県東部地区消防長会】消防吏員研修会2人、【その他】職員採用募集ポスターへの出演3人、市PR動画への出演3人、他業種との意見交換会2人、専門学生への説明会1人、大学生への説明会2人			消防局ホームページ内の女性消防吏員活躍ページ作成、市町村合同説明会への女性消防吏員の参加、他業種との意見交換会への参加など積極的に行った。	
事業の評価				
A(順調に取り組んでいる)			今後も女性消防吏員の講習会や研修等へ積極的に参加し、消防吏員に占める女性の割合が5%達成後もさらなる目標数値を設定し、女性消防吏員の確保に努めていく。	
<前年度評価> A				
認識した課題			課題解決に向けた対応	
女性消防吏員が増加する中で職域を拡大させるとともに、消防吏員に占める女性の割合の目標値を見直す必要がある。			目標数値を見直し、女性消防吏員の割合を増加させ、職域拡大、住民サービスの向上や組織の活性化を図っていく。	

基本目標 II 男女が輝き活躍できるまちづくり  
 施策の方針 3 女性の活躍の推進  
 取り組みの方向 (2) 女性の就業・起業のための支援

【達成度】  
 5 (十分に達成できた) : 目標値の100%以上  
 4 (概ね達成できた) : 目標値の80%以上100%未満  
 3 (達成まで今一歩) : 目標値の60%以上80%未満  
 2 (達成は不十分) : 目標値の60%未満

28	事業名	女性のための就職支援セミナー	所管課所	経済振興課
男女共同参画の視点からの事業目的			手段	
女性の就職へ向けた能力向上等を支援し、さらなる活躍の推進と働き手の確保を図る。			就職活動に必要な適性診断や採用面接での自己PRをテーマとしたセミナー(講座)を開催する。	
事業の実施内容				
【女性のための就職支援セミナー(市主催)】 ①4/5(参加者数(以下省略)18人)、②6/14(18人)、③7/12(19人)、④8/9(17人)、⑤10/4(20人)、⑥11/8(18人)、⑦12/13(16名)、⑧2/14(17名)⑨3/13(21名) 【女性のためのビジネスマナー講座(市主催)】 ①5/17(18人)、②9/6(18人)、③1/10(18人)				
活動実績			取り組みの成果	
【活動指標】 参加率			【成果指標】 満足度	
【目標】 70% 【実績】 91%			【目標】 90% 【実績】 99%	
【達成度】 5(十分に達成できた)			【達成度】 5(十分に達成できた)	
参加人数:218人 募集人数:240人(20人×12回)			「よかった」:216人 「分からない」:2人	
事業の評価				
A(順調に取り組んでいる)		女性セミナーの内容については、デジタル分野で活躍するための基礎講座の回数を増やし、参加者増加に努めた。参加率・満足度はともに高い成果を得られた。		
<前年度評価> A				
認識した課題			課題解決に向けた対応	
毎回定員を超える申込があるものの、連絡なく当日欠席する人がいる。また、幅広い年代が興味を持つ内容を検討する必要がある。			無断欠席の方にメールを送り、欠席の際は事前に連絡するようお伝えする。デジタルに関する講座など、対象者のニーズに応じたテーマを引き続き検討する。	

29	事業名	女性の就業支援事業	所管課所	経済振興課
男女共同参画の視点からの事業目的			手段	
女性の就職支援の一環として専門のキャリアコンサルタントを配置、就職に向けたきめ細かな総合的カウンセリングを実施し、早期就職の促進を図る。			委託事業としてキャリアコンサルタントを配置し、個別にカウンセリングを実施する。	
事業の実施内容				
専用のキャリアコンサルタントによる早期就職に向けた総合的なカウンセリングを実施(月曜～金曜、午前9時～午後5時、受付は午後4時30分まで)				
活動実績			取り組みの成果	
【活動指標】 相談件数(延べ)			【成果指標】 相談終了者の就職率	
【目標】 90件 【実績】 131件			【目標】 40% 【実績】 30%	
【達成度】 5(十分に達成できた)			【達成度】 3(達成まで今一歩)	
延べ相談件数292件のうち女性相談件数131件			女性相談終了者60人、内訳(就職18人、未就職42人) 未就職には相談者からの就職報告がないケースを含む。	
事業の評価				
C(より積極的な取り組みが必要)				
<前年度評価> A				
認識した課題			課題解決に向けた対応	
相談件数は前年より減少したものの、就職率は向上した。相談件数の増加に向けて取り組む必要がある。			就職に繋がらなかった相談者へのフォローアップおよび更なる事業周知等を強化する。	

基本目標 II 男女が輝き活躍できるまちづくり  
 施策の方針 3 女性の活躍の推進  
 取り組みの方向 (2) 女性の就業・起業のための支援

【達成度】  
 5 (十分に達成できた) : 目標値の100%以上  
 4 (概ね達成できた) : 目標値の80%以上100%未満  
 3 (達成まで今一歩) : 目標値の60%以上80%未満  
 2 (達成は不十分) : 目標値の60%未満

30	事業名	女性創業者の育成支援	所管課所	経済振興課
男女共同参画の視点からの事業目的			手段	
女性の創業を促進し、新たな産業や雇用の創出及び市内産業の振興を図る。			女性の創業希望者や創業間もない方を対象に創業相談及び創業支援セミナーを実施する。また、創業に係る費用の補助を行う。	
事業の実施内容				
①ビジネスサポートセンターこしがや(相談窓口)の専門家による創業相談(女性相談46人)、 ②女性創業サロン(9月27日、10月25日、11月29日:15人)、女性創業支援セミナー(11月1日、8日、15日、22日:23人)、コミュニティビジネスセミナー(3月6日、13日:10人) ③創業者支援補助金(女性補助対象者3人) ④その他創業に係るセミナー(女性参加者14人)				
活動実績			取り組みの成果	
【活動指標】 女性の創業相談件数			【成果指標】 創業を支援した女性の人数	
【目標】 40件			【目標】 10人	
【実績】 46件			【実績】 17人	
【達成度】 5(十分に達成できた)			【達成度】 5(十分に達成できた)	
事業の評価				
A(順調に取り組んでいる)				
<前年度評価> A				
認識した課題			課題解決に向けた対応	
セミナー受講後・補助金申請後のフォローアップが不足しているため、支援途中で創業を断念してしまうケースもみられる。フォローアップ体制については、引き続き検討していく必要がある。			窓口相談、セミナー、補助金申請対応すべての段階において、創業希望者の実態把握に努めていきたい。各事業での関連性を持ちながら、各事業関係期間との連携を強化し、ワンストップの支援を行う。	

31	事業名	女性の起業支援に関する講座の開催	所管課所	男女共同参画支援センター
男女共同参画の視点からの事業目的			手段	
女性が主体的に能力を発揮できる力(エンパワメント)をつけるための学習機会を提供し、起業を視野に入れた女性の能力向上を図る。			女性が企業で働くだけでなく、起業する、NPOを立ち上げるなど、多様な働き方の選択ができるようなワークショップを中心とした講座を開催する。	
事業の実施内容				
「令和5年度私の好きなことで仕事を創る」4回連続講座 ①9/20「起業について考える、私はなにができる?」(参加者:18人)②10/4「私が本当にやりたいことを見つけよう」(参加者:19人)③10/11「地域で活動している人とつながろう」(参加者:19人)④「私の好きなことで仕事を創る」(参加者:16人)				
活動実績			取り組みの成果	
【活動指標】 参加率			【成果指標】 満足度	
【目標】 80%			【目標】 80%	
【実績】 90%			【実績】 94%	
【達成度】 5(十分に達成できた)			【達成度】 5(十分に達成できた)	
募集80人(20人×4回) 参加人数、第1回:18人(内WEB8人)、第2回:19人(内WEB7人)、第3回:19人(内WEB8人)、第4回:16人(内WEB5人) ※会場とオンライン同時開催 ※女性対象講座			アンケートの満足・ほぼ満足の合計 「書く事でやりたい事、好きな事の再認識ができ、ディスカッションする事で再認識できた」「内容も満足で、参加者もすてきな人ばかりでとても楽しい時間だった」などの感想があり、起業について意識を高めていただくことができた。	
事業の評価				
A(順調に取り組んでいる)			対面とオンラインのハイブリッド形式をとることで、対面参加が難しい参加者も参加することができた。起業に関心がある人同士で話をする事で、考えを整理したり、新たな考え方に触れることができた。起業に向けての自信につなげることができた。	
<前年度評価> A				
認識した課題			課題解決に向けた対応	
特になし。			引き続き、適切に事業を実施する。	



基本目標 II 男女が輝き活躍できるまちづくり  
 施策の方針 3 女性の活躍の推進  
 取り組みの方向 (2) 女性の就業・起業のための支援

【達成度】  
 5 (十分に達成できた) : 目標値の100%以上  
 4 (概ね達成できた) : 目標値の80%以上100%未満  
 3 (達成まで今一歩) : 目標値の60%以上80%未満  
 2 (達成は不十分) : 目標値の60%未満

32	事業名	家族経営協定の推進	所管課所	農業振興課
男女共同参画の視点からの事業目的			手段	
市内で農業を経営する世帯における女性従事者の労働環境を維持する。			農業を経営する家族間の話し合いのもとで共同経営環境の取り決めをする「家族経営協定」の普及拡大のため、農家への戸別訪問による啓発パンフレットの配布や制度説明、農業団体へのPRなどを行う。	
事業の実施内容				
各農業団体の会議等において、家族経営協定の制度を説明し、PRを行った。				
活動実績			取り組みの成果	
【活動指標】 農業団体へのPR活動			【成果指標】 協定の締結件数	
【目標】 1回			【目標】 32件	
【達成度】 5(十分に達成できた)			【達成度】 5(十分に達成できた)	
【実績】 1回			【実績】 32件	
越谷市農業団体連合会の各部会、JA越谷市女性部等の会議においてPRを行った。				
事業の評価				
A(順調に取り組んでいる)				
<前年度評価> A				
認識した課題			課題解決に向けた対応	
家族経営協定の締結に向け、制度説明やPRを推進しているところであるが、積極的に取り組む農業者が少ない。			制度の概要に加え、労働環境の向上を目的とした家族経営協定の意義やメリットについて、農業者に対し積極的に周知、PRする。	

33	事業名	女性の農業従事者支援	所管課所	農業振興課
男女共同参画の視点からの事業目的			手段	
市内の農業に携わる女性組織の活動を支援し、農業における女性の地位向上や経営参画推進を図る。			JA越谷市女性部が実施する、農業経営に関する講座及び先進事例の研究、地域交流活動など支援するための補助金を交付する。	
事業の実施内容				
JA越谷市女性部を通じて、地産地消フェスタにて地場農産物を利用した加工品販売、各支部における活動などを実施した。				
活動実績			取り組みの成果	
【活動指標】 実施地区の割合			【成果指標】	
【目標】 100%			【目標】 —	
【実績】 100%			【実績】 —	
【達成度】 5(十分に達成できた)			【達成度】 5(十分に達成できた)	
女性部の全体会議や各支部における活動を行った。			各種農業団体活動等への参加や、JA埼玉県女性協会の会議への参加から、農業経営や地域社会への参画などの知識を習得することができた。	
事業の評価				
A(順調に取り組んでいる)				
<前年度評価> A				
認識した課題			課題解決に向けた対応	
女性農業起業家としての自立や安定化が十分図れていない。また、コロナ禍を経て、今後の各イベントの実施方法や参加方法などについて検討が必要である。			女性農業者間の交流・情報交換会の推進を図りつつ、女性農業者ならではの発想やネットワークを活かした活動を促進し、起業家としての自立や経営の安定化を図っていく。また、各イベントの実施や参加については、積極的な活動を検討する。	

基本目標 II 男女が輝き活躍できるまちづくり  
 施策の方針 3 女性の活躍の推進  
 取り組みの方向 (3) ハラスメント対策の充実

【達成度】  
 5 (十分に達成できた) : 目標値の100%以上  
 4 (概ね達成できた) : 目標値の80%以上100%未満  
 3 (達成まで今一歩) : 目標値の60%以上80%未満  
 2 (達成は不十分) : 目標値の60%未満

34	事業名	就労に関する法制度や職場におけるハラスメントに関する講座の開催	所管課所	男女共同参画支援センター
男女共同参画の視点からの事業目的			手段	
市民に就労に関する法制度や職場におけるハラスメントについて普及・啓発を図る。			配偶者控除、育児・介護休業法、パートタイム・有期雇用労働法など、就労に関する法制度、職場におけるハラスメントについて講座を開催する。	
事業の実施内容				
埼玉労働局と共催で、10/26「これだけは知っておきたい！パートタイム・有期雇用労働法とハラスメント」を実施した。				
活動実績			取り組みの成果	
【活動指標】 参加率			【成果指標】 理解度	
【目標】 80%			【目標】 80%	
【実績】 60%			【実績】 91%	
【達成度】 3(達成まで今一歩)			【達成度】 5(十分に達成できた)	
参加人数12人(女性9人、男性3人、その他0人)募集人数20人			アンケートの理解できた・ほぼ理解できたの合計 「グループワークのとき、各テーブルに専門の人がついてくださりとても参考になった」「仕事を決める際に確認しておく必要のある項目がわかった」との感想があり、ハラスメントの基礎知識について理解を深めていただくことができた。	
事業の評価				
C(より積極的な取り組みが必要)			働くうえで必要な労働法と職場におけるハラスメントの基礎知識について理解を深めることができた。	
<前年度評価> A			グループでの話し合いで疑問を解消できたことが理解向上につながった。	
認識した課題			課題解決に向けた対応	
未就労者の申込みが多く就労が決まると仕事の関係でキャンセルがでた。			申込み状況を確認し定員より多くの申込みを受付けていく。	

35	事業名	ワーク・ライフ・バランスやハラスメント防止やハラスメント防止の普及・啓発	所管課所	人権・男女共同参画推進課
男女共同参画の視点からの事業目的			手段	
市内の事業者には、仕事と生活の調和(ワーク・ライフ・バランス)やハラスメント防止について普及・啓発を図る。			ワーク・ライフ・バランスに関係する取り組みを行っている市内の事業者にインタビューし、その効果などをまとめるとともに、ハラスメント防止を含めたリーフレットを市内事業者に配付する。	
事業の実施内容				
ワーク・ライフ・バランスの推進として、健康経営に関する記事を掲載したリーフレットを作成し、市内企業経営者を中心に配付した(配付部数: 5,600部)				
活動実績			取り組みの成果	
【活動指標】 リーフレットの配付回数			【成果指標】	
【目標】 1回			【目標】 —	
【実績】 1回			【実績】 —	
【達成度】 5(十分に達成できた)			【達成度】 4(概ね達成できた)	
越谷市商工会議所に依頼し、登録をしている市内企業にリーフレットを配付し、企業経営者に周知を図った。そのほか、経済振興課窓口及び「ほっと越谷」にも配架した。			商工会議所を通して市内事業者にリーフレットを配付することで、職場におけるワーク・ライフ・バランスの意識を促すことができた。	
事業の評価				
A(順調に取り組んでいる)				
<前年度評価> A				
認識した課題			課題解決に向けた対応	
特になし			引き続き、適切に事業を実施する。	

基本目標 II 男女が輝き活躍できるまちづくり  
 施策の方針 3 女性の活躍の推進  
 取り組みの方向 (3) ハラスメント対策の充実

【達成度】

5 (十分に達成できた) : 目標値の100%以上

4 (概ね達成できた) : 目標値の80%以上100%未満

3 (達成まで今一歩) : 目標値の60%以上80%未満

2 (達成は不十分) : 目標値の60%未満

36	事業名	職員に対するハラスメント対策の充実	所管課所	安全衛生管理課
男女共同参画の視点からの事業目的			手段	
ハラスメントのない、男女がともに能力を発揮できる職場環境を形成するため、職員に対する意識啓発を図る。			ハラスメントに関する研修等を実施する。	
事業の実施内容				
新採用研修、中級研修(入庁6年目)、上級研修(入庁12年目)、監督職員(主幹級)及び新任副課長職研修においてハラスメント(メンタルヘルス含む)に関する研修を実施した。				
活動実績			取り組みの成果	
【活動指標】 ハラスメントに関する研修受講者数			【成果指標】 理解度	
【目標】 —			【目標】 100%	
【達成度】 5(十分に達成できた)			【達成度】 4(概ね達成できた)	
【実績】 383人			【実績】 96.6%	
内訳:新採用(女性110人、男性79人)中級(女性39人、男性46人)上級(女性34人、男性27人)主幹級(女性12人、16人)副課長級(女性4人、男性16人)			アンケート結果で「理解できた、ほぼ理解できた」と回答した人が、96.6%であった。来年度は研修後の結果で「理解できた、ほぼ理解できた職員」で100%を目指す。今年度、研修を受けた職員は理解が深まったと考える。	
事業の評価				
A(順調に取り組んでいる)			研修を各階級別の職員に対し実施することにより、ハラスメントに対する理解や問題意識が深まっている。また、相談窓口の認知度も高まった。	
<前年度評価> A				
認識した課題			課題解決に向けた対応	
研修時の理解度の継続性、実行性を持たせる工夫が必要			入庁時及び階層別研修において今後とも適切に研修を実施する。	



基本目標	Ⅱ 男女が輝き活躍できるまちづくり	【達成度】
施策の方針	4 仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）の推進	5（十分に達成できた）：目標値の100%以上
取り組みの方向	(1) 職場におけるワーク・ライフ・バランスの推進	4（概ね達成できた）：目標値の80%以上100%未満
		3（達成まで今一步）：目標値の60%以上80%未満
		2（達成は不十分）：目標値の60%未満

37	事業名	事業者を対象とした男女共同参画に関する事業の実施	所管課所	男女共同参画支援センター
男女共同参画の視点からの事業目的			手段	
事業者にも男女共同参画意識の普及・啓発を図り、職場における男女共同参画を推進する。			事業者を対象として、ワーク・ライフ・バランスなどに関する講座、パネル展示等を実施する。	
事業の実施内容				
10/28,29に開催された産業フェスタにて、「越谷ジェンダー統計」のパネル展示を行うとともに、「ほっと越谷」の紹介を行った。				
活動実績			取り組みの成果	
【活動指標】 実施事業数			【成果指標】 実施回数	
【目標】 1回			【目標】 ー	
【実績】 1回			【実績】 ー	
			事業者が集まる場所にパネル展示を行うことで、事業者に情報を届けることができた。	
事業の評価				
A(順調に取り組んでいる)				
<前年度評価> C				
認識した課題			課題解決に向けた対応	
特になし。			引き続き、適切に事業を実施する。	

38	事業名	男性職員の育児休業取得のための啓発	所管課所	人事課
男女共同参画の視点からの事業目的			手段	
子育て中の男性職員が子育てに関する休暇等を積極的に取得できるよう、制度内容の周知・啓発を図る。			仕事と家庭の両立支援に関する研修の実施やハンドブックの配付等により、職員への周知を図る。	
事業の実施内容				
新採用職員、採用後6年目の職員及び新任管理職員を対象に、男性の育児休業をはじめとした仕事と家庭の両立支援に関する研修を実施した。 (新採用職員研修は4/4～4/6で実施、採用後6年目研修は10/24に実施、新任副課長職研修は6/30、7/13に実施)				
活動実績			取り組みの成果	
【活動指標】 仕事と家庭の両立支援に関する研修の受講者数			【成果指標】 理解度	
【目標】 ー			【目標】 100%	
【達成度】 5(十分に達成できた)			【達成度】 4(概ね達成できた)	
【実績】 186人			【実績】 90%	
①新採用職員研修(4/1付採用):男性52人、女性73人 ②採用後6年目研修(事務改善研修):男性17人、女性24人 ③新任副課長職研修:男性16人、女性4人			新採用職員に対して育児・介護両立支援ハンドブックを配付し、制度内容の周知を図った。その他の職員に対しては、仕事と家庭の両立支援に関する研修を実施し、意識啓発に努めた。	
事業の評価				
A(順調に取り組んでいる)		男性職員が抱く育児休業等への不安を少しでも解消できるよう育休通信による情報提供を実施した。		
<前年度評価> A				
認識した課題			課題解決に向けた対応	
特になし。			引き続き、適切に事業を実施する。	

基本目標	Ⅱ 男女が輝き活躍できるまちづくり	【達成度】
施策の方針	4 仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）の推進	5（十分に達成できた）：目標値の100%以上
取り組みの方向	(2) 家庭生活等におけるワーク・ライフ・バランスの推進	4（概ね達成できた）：目標値の80%以上100%未満
		3（達成まで今一歩）：目標値の60%以上80%未満
		2（達成は不十分）：目標値の60%未満

39	事業名	男性の男女共同参画推進のための事業の実施	所管課所	男女共同参画支援センター
男女共同参画の視点からの事業目的			手段	
男性に家庭生活等への参画を促す意識を啓発する。			さまざまな世代に対応したテーマを設定して講座等を開催する。	
事業の実施内容				
・5/14「今こそそうろう！『男性の産休』―勝利の鍵はパパの手に！」(参加者:16人) 家事や育児におけるジェンダーギャップを学び考えてもらい、男性の産休取得方法や取得のメリットを学んでもらう講座を実施した。				
活動実績			取り組みの成果	
【活動指標】 実施事業数			【成果指標】	
【目標】 1回			【目標】 ー	
【達成度】 5(十分に達成できた)			【達成度】 5(十分に達成できた)	
【実績】 1回			【実績】 ー	
募集20人、参加者16人 (対面:女2人、男5人) (アーカイブ視聴:女7人、男2人)			「女性の愛情曲線」や「妊産婦死亡死亡原因」などのキーワードから、実際のデータをもとに、男性が育休を取得することで生じるメリットと育休を取得しないことで生じるデメリットを理解してもらうことで、男性の家庭進出の大切さを伝えることができた。	
事業の評価				
A(順調に取り組んでいる)				
<前年度評価> A				
認識した課題			課題解決に向けた対応	
特になし。			引き続き、適切に事業を実施する。	

40	事業名	育児・介護等と仕事の両立支援のための事業の実施	所管課所	男女共同参画支援センター
男女共同参画の視点からの事業目的			手段	
仕事と育児・介護等の両立を支援する。			働きながら子育てや介護等を両立することに関する講座等を実施する。	
事業の実施内容				
・6/22「育児と介護が重なる『ダブルケア』あなたはどうか乗り切る!？」(参加者:12人) 「ダブルケア」とはどのような状態か学び、育児や介護におけるタスクの優先順位付けや使える行政サービスを駆使し、仕事との両立に役立ててもらった講座を実施した。				
活動実績			取り組みの成果	
【活動指標】 実施事業数			【成果指標】	
【目標】 1回			【目標】 ー	
【実績】 1回			【実績】 ー	
募集15人、参加者12人 (対面:女3人、男2人) (アーカイブ視聴:女7人)			ダブルケアの増加が予測される現代において、育児(もしくは介護)と仕事の両立ではなく、ダブルケアとの両立方法として、育児と介護の違いから、優先順位を考えてもらい自分の時間を確保する方法を学んでもらうことができた。	
事業の評価				
A(順調に取り組んでいる)				
<前年度評価> A				
認識した課題			課題解決に向けた対応	
特になし。			引き続き、適切に事業を実施する。	

基本目標	Ⅱ 男女が輝き活躍できるまちづくり	【達成度】
施策の方針	4 仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）の推進	5（十分に達成できた）：目標値の100%以上
取り組みの方向	(2) 家庭生活等におけるワーク・ライフ・バランスの推進	4（概ね達成できた）：目標値の80%以上100%未満
		3（達成まで今一歩）：目標値の60%以上80%未満
		2（達成は不十分）：目標値の60%未満

41	事業名	育児期の女性の就労継続を支援する講座の開催	所管課所	男女共同参画支援センター
男女共同参画の視点からの事業目的			手段	
育児期の女性が就業継続し、スキルアップにつながる支援をする。			妊娠・出産・育児期の女性が仕事を継続するために、具体的に役立つ知識やスキルを習得できる講座を開催する。	
事業の実施内容				
講座名「私、いつか働きたい。働くことについて、一緒に考える講座」 ・6/7「自分と向き合う時間をとろう」(参加者:15人) ・6/21「役立つ地域の支援情報を知ろう」(参加者:6人)				
活動実績			取り組みの成果	
【活動指標】 参加率			【成果指標】 満足度	
【目標】 80%			【目標】 80%	
【実績】 100%			【実績】 100%	
【達成度】 5(十分に達成できた)			【達成度】 5(十分に達成できた)	
募集人数20人(10人×2回)参加者21人 第1回:15人(内アーカイブ視聴5人)、第2回:6人 ※第一回のみアーカイブ配信あり ※女性対象講座			アンケートの満足・ほぼ満足の合計 「久しぶりに大人とお話しができて楽しかった。自分と向き合う時間がこれほど大事なものとは思わなかった」「今の自分の悩みに合っていて、自分のやりたいことを探すきっかけになった」などの感想があった。	
事業の評価				
A(順調に取り組んでいる)				
<前年度評価> A				
認識した課題			課題解決に向けた対応	
参加条件を限定している講座は参加人数が少なくなりがちである。参加者の8割近くが30代だったことをふまえ、年代に合わせた告知方法を検討する必要がある。			30代前後の年代に合わせた告知方法として、オンラインを使った告知方法を検討したい。	

42	事業名	障がい者介護支援	所管課所	障害福祉課
男女共同参画の視点からの事業目的			手段	
介護者の負担軽減を図ることで、介護と他の活動の両立を支援する。			在宅の心身障害者の地域生活を支援するため、一時預かり・派遣による介護サービス・外出援助等を実施する登録サービス提供団体に補助金を交付する。	
事業の実施内容				
一時預かり、派遣による介護サービス、外出援助等を行う「生活サポート事業」を実施し、サービス提供団体に補助金を交付する。				
活動実績			取り組みの成果	
【活動指標】 利用登録者数(障がい者)			【成果指標】 利用時間数(延べ)	
【目標】 425人			【目標】 —	
【達成度】 4(概ね達成できた)			【達成度】 4(概ね達成できた)	
【実績】 373人			【実績】 5,534時間	
			事業の内容から、目標値の設定は難しいが、令和5年度は令和4年度実績(6,015時間)よりやや減少したものの、取り組みの成果としては概ね達成できたと考えられる。	
事業の評価				
B(概ね順調に取り組んでいる)				
<前年度評価> A				
認識した課題			課題解決に向けた対応	
昨年同様、登録事業者数25に対し、市内の事業者は8箇所にとどまっているため、利用登録者が緊急時に利用できないことがある。			市内及び近隣の事業所から団体登録の希望があれば登録を進めていく。また、利用登録者が緊急時に利用できない場合は、利用者の状況を確認しながら、他のサービスの利用を検討する。	

基本目標	Ⅱ 男女が輝き活躍できるまちづくり	【達成度】
施策の方針	4 仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）の推進	5（十分に達成できた）：目標値の100%以上
取り組みの方向	(2) 家庭生活等におけるワーク・ライフ・バランスの推進	4（概ね達成できた）：目標値の80%以上100%未満
		3（達成まで今一步）：目標値の60%以上80%未満
		2（達成は不十分）：目標値の60%未満

43	事業名	障がい児介護支援	所管課所	子ども福祉課
男女共同参画の視点からの事業目的			手段	
介護者の負担軽減を図ることで、介護と他の活動の両立を支援する。			在宅の心身障害児の地域生活を支援するため、一時預かり・派遣による介護サービス・外出援助等を実施する登録サービス提供団体に補助金を交付する。	
事業の実施内容				
一時預かり、派遣による介護サービス、外出援助等を行う「生活サポート事業」を実施し、サービス提供団体に補助金を交付した。また、サービスを受けた時間数に応じた自己負担金について、障がい児の保護者の所得に応じた階層区分により補助額を決定し、介護者の負担を軽減した。				
活動実績			取り組みの成果	
【活動指標】 利用登録者数(障がい児)			【成果指標】 利用時間数(延べ)	
【目標】 260人			【目標】 —	
【達成度】 4(概ね達成できた)			【達成度】 5(十分に達成できた)	
【実績】 223人			【実績】 10,027時間	
			サービス提供事業者への補助を行うことで、利用者の負担軽減を図ることができた。	
事業の評価				
A(順調に取り組んでいる)				
<前年度評価> A				
認識した課題			課題解決に向けた対応	
特になし。			引き続き、適切に事業を実施する。	

44	事業名	高齢者介護支援	所管課所	地域包括ケア課
男女共同参画の視点からの事業目的			手段	
介護者の負担軽減を図ることで、介護と他の活動の両立を支援する。			見守りや部分的介助が必要な高齢者(介護保険認定対象外)の介護者が、休養や旅行等で一時的に介護を離れる間、高齢者が特別養護老人ホーム等で短期宿泊する際のサービス費を受け入れ施設に支給する。	
事業の実施内容				
市内に住所を有する65歳以上の介護保険認定対象外の高齢者で、見守りや部分的介護が必要な方が、一時的に介護者が病気や事故等で介護が困難になったとき、特別養護老人ホーム等で、空きベッドを利用して一時的に生活管理の支援を行う。				
活動実績			取り組みの成果	
【活動指標】 申請件数			【成果指標】 利用日数(延べ)	
【目標】 10件			【目標】 —	
【達成度】 4(概ね達成できた)			【達成度】 5(十分に達成できた)	
【実績】 9件			【実績】 110日	
			事業利用を必要とする人がいた場合、要件が当てはまれば早急に利用できる体制を整えている。	
事業の評価				
A(順調に取り組んでいる)			利用者の相談を受けた場合は速やかに対応を行える体制維持を行っている。	
<前年度評価> A				
認識した課題			課題解決に向けた対応	
事業を必要とする潜在的なケースの発見機能体制を強化していく必要がある。			地域包括支援センターやその他関係機関との連携を図り、利用者の家族支援を促す。	

基本目標  
 施策の方針  
 取り組みの方向

Ⅱ 男女が輝き活躍できるまちづくり  
 4 仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）の推進  
 (2) 家庭生活等におけるワーク・ライフ・バランスの推進

【達成度】  
 5（十分に達成できた）：目標値の100%以上  
 4（概ね達成できた）：目標値の80%以上100%未満  
 3（達成まで今一歩）：目標値の60%以上80%未満  
 2（達成は不十分）：目標値の60%未満

45	事業名	父親サロンの開催	所管課所	子ども施策推進課
男女共同参画の視点からの事業目的			手段	
父親に、育児の参画を促進するための支援を行う。			未就学の子どもを持つ父親同士の交流の場として父親サロンを開催する。	
事業の実施内容				
未就学の子どもを持つ父親を対象に父親サロンを開催し、相談や情報提供を行ったほか、父親同士の交流を促進し、父親の育児参加を支援した。				
活動実績			取り組みの成果	
【活動指標】 参加人数(延べ)			【成果指標】	
【目標】 300人			【目標】 ー	
【実績】 300人			【実績】 ー	
【達成度】 5(十分に達成できた)			【達成度】 5(十分に達成できた)	
事業の評価				
A(順調に取り組んでいる)				
<前年度評価> C				
認識した課題			課題解決に向けた対応	
特になし。			引き続き、適切に事業を実施する。	

46	事業名	送迎保育の実施	所管課所	子ども施策推進課
男女共同参画の視点からの事業目的			手段	
保育園の開所時間内に保育園へ児童を送迎できない保護者に代わり、保育ステーションにおいて送迎及びそれに伴う保育を行うことにより、仕事と育児の両立を支援する。			指定私立保育園への児童の送迎及びそれに伴う保育を行う。	
事業の実施内容				
保護者が仕事と子育ての両立を支援するため、利便性の高い駅前2か所(南越谷・北越谷)の保育ステーションで送迎保育を実施した。				
活動実績			取り組みの成果	
【活動指標】 年間利用可能な児童数(延べ)			【成果指標】 年間利用児童数(延べ)	
【目標】 11,720人			【目標】 —	
【達成度】 4(概ね達成できた)			【達成度】 4(概ね達成できた)	
【実績】 11,600人			【実績】 1,029人	
			育児休業制度の取得促進など、社会情勢の変化により、定員を超える利用はなかったが、必要とする利用者のため、いつでも利用希望に対応できる状況を整えている。	
事業の評価				
B(概ね順調に取り組んでいる)				
<前年度評価> B				
認識した課題			課題解決に向けた対応	
特になし。			引き続き、適切に事業を実施する。	



基本目標	Ⅱ 男女が輝き活躍できるまちづくり	【達成度】
施策の方針	4 仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）の推進	5（十分に達成できた）：目標値の100%以上
取り組みの方向	(2) 家庭生活等におけるワーク・ライフ・バランスの推進	4（概ね達成できた）：目標値の80%以上100%未満
		3（達成まで今一歩）：目標値の60%以上80%未満
		2（達成は不十分）：目標値の60%未満

47	事業名	一時預かりの実施	所管課所	子ども施策推進課
男女共同参画の視点からの事業目的			手段	
市民の育児と他の活動(就職活動、通院、リフレッシュ等)との両立を支援する。			保育ステーション及び地域子育て支援センターにおいて、一時預かりを実施する。	
事業の実施内容				
地域子育て支援センター8か所と保育ステーション3か所において、保護者の急用時や子育てのリフレッシュを図りたい時などに、保護者に代わって児童を一時的に保育する一時預かり事業を実施した。				
活動実績			取り組みの成果	
【活動指標】 年間利用可能な児童数(延べ)			【成果指標】 年間利用児童数(延べ)	
【目標】 36,400人			【目標】 —	
【実績】 35,160人			【実績】 11,816人	
【達成度】 4(概ね達成できた)			【達成度】 4(概ね達成できた)	
支援センター日数:243日 2か月のみ開設の施設有 保育ステーション:17,950人 支援センター:17,210人			公立支援センター1,300名 私立支援センター3,017名 保育ステーション7,449名	
事業の評価				
B(概ね順調に取り組んでいる)				
<前年度評価> B				
認識した課題			課題解決に向けた対応	
特になし。			引き続き、適切に事業を実施する。	

48	事業名	保育所運営(市立)	所管課所	保育施設課
男女共同参画の視点からの事業目的			手段	
市立保育所18か所において良質かつ適切な保育サービスの提供に努めるとともに、障がい児保育・延長保育等多様な保育ニーズに応えられるよう、適正な保育所運営の確保に努めることで、市民の育児と他の活動の両立を支援する。			適正な保育所の運営を通じて、良質で適切な保育サービスを提供する。	
事業の実施内容				
通常の保育サービスに加え、特別支援保育や医療的ケア児の受け入れなど、様々な支援を必要とする児童に対して保育サービスを提供する。				
活動実績			取り組みの成果	
【活動指標】 保育所(市立)の定員			【成果指標】 保育所(市立)入所児童数	
【目標】 2,050人			【目標】 —	
【達成度】 5(十分に達成できた)			【達成度】 5(十分に達成できた)	
【実績】 2,050人			【実績】 1,953人	
			保育を必要とする多くの児童に対し、保育サービス提供することができた。	
事業の評価				
A(順調に取り組んでいる)				
<前年度評価> A				
認識した課題			課題解決に向けた対応	
特になし。			引き続き、適切に事業を実施する。	

基本目標	Ⅱ 男女が輝き活躍できるまちづくり	【達成度】
施策の方針	4 仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）の推進	5（十分に達成できた）：目標値の100%以上
取り組みの方向	(2) 家庭生活等におけるワーク・ライフ・バランスの推進	4（概ね達成できた）：目標値の80%以上100%未満
		3（達成まで今一歩）：目標値の60%以上80%未満
		2（達成は不十分）：目標値の60%未満

49	事業名	延長保育の実施	所管課所	保育入所課
男女共同参画の視点からの事業目的			手段	
市民の育児と就労等との両立を支援する。			就労形態の多様化や通勤時間に即した保護者のニーズに適切に対応するため、延長保育を実施する。	
事業の実施内容				
就労形態の多様化や通勤時間に即した保育ニーズに対応するため市内の認可保育所117か所（公立18か所、私立24か所、認定こども園9か所、地域型保育事業所66か所）において保育認定時間を越える延長保育を実施した。				
活動実績			取り組みの成果	
【活動指標】 利用可能な児童数(延べ)			【成果指標】 利用児童数(延べ)	
【目標】 7,395人			【目標】 ー	
【実績】 6,063人			【実績】 85,077人	
【達成度】 4(概ね達成できた)			【達成度】 5(十分に達成できた)	
定員の増加を行うことにより、延長保育を実施できる人数を増やすことができた。			昨年度実績(62623人)に比べ利用人数の増加となった。 新型コロナウイルスの位置づけが5類感染症に変更されて以降、利用者増加の傾向にあり、育児と就労の両立の支援を行っている。	
事業の評価				
A(順調に取り組んでいる)			多様化する保護者のニーズに適応できるよう各保育施設にて順調に取り組んでいる。	
<前年度評価> A				
認識した課題			課題解決に向けた対応	
特になし。			引き続き、適切に事業を実施する。	

50	事業名	病児等保育の実施	所管課所	子ども施策推進課
男女共同参画の視点からの事業目的			手段	
市民の育児と他の活動との両立を支援する。			病気で患中又は回復期にある生後3ヶ月から小学校3年生までの乳幼児・児童を一時的に保育する。	
事業の実施内容				
社会福祉法人及び株式会社に委託している市内2か所の専用保育室で、看護師及び保育士を配置し運営した。				
活動実績			取り組みの成果	
【活動指標】 利用可能な児童数(延べ)			【成果指標】 利用児童数(延べ)	
【目標】 610人			【目標】 —	
【実績】 610人			【実績】 700人	
【達成度】 5(十分に達成できた)			【達成度】 5(十分に達成できた)	
			保護者の子育て及び就労の両立を支援するとともに、児童の健全な育成に寄与できた。 問い合わせ:430件、利用予約:1262件(うち解約562件)	
事業の評価				
A(順調に取り組んでいる)			前年度に引き続き、病児保育室として、児童が病気であっても保育可能である安心な預け先として、働く保護者に認識されている。	
<前年度評価> A				
認識した課題			課題解決に向けた対応	
特になし。			引き続き、適切に事業を実施する。	

基本目標	Ⅱ 男女が輝き活躍できるまちづくり	【達成度】
施策の方針	4 仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）の推進	5（十分に達成できた）：目標値の100%以上
取り組みの方向	(2) 家庭生活等におけるワーク・ライフ・バランスの推進	4（概ね達成できた）：目標値の80%以上100%未満
		3（達成まで今一步）：目標値の60%以上80%未満
		2（達成は不十分）：目標値の60%未満

51	事業名	保育所(園)入所(園)事業(私立等)	所管課所	保育入所課
男女共同参画の視点からの事業目的			手段	
市民の育児と他の活動との両立を支援する。			多様化する保育需要に対応するため、市内の民間保育施設(私立保育園、認定こども園、施設型給付を受ける幼稚園、地域型保育事業所)及び市外の保育施設の保育の実施を委託する。	
事業の実施内容				
市内の民間保育施設100か所(私立保育園24か所、認定こども園9か所、施設型給付を受ける幼稚園1か所、地域型保育事業所66か所)及び市外の保育施設に、市内児童の保育を委託した。				
活動実績			取り組みの成果	
【活動指標】 市内保育施設(私立等)の定員			【成果指標】 市内保育施設(私立等)、市外委託保育の利用人数(延べ)	
【目標】 5,345人			【目標】 —	
【達成度】 4(概ね達成できた)			【達成度】 4(概ね達成できた)	
【実績】 5,211人			【実績】 60,242人	
令和5年度は家庭的保育1か所が再開したが、認定こども園3ヶ所で定員の減少があった。			民間保育施設の新設、定員の増員や保護者への丁寧な情報提供を行い、昨年度と同等の児童の保育を実施できた。また、保護者の利便性等の向上となる市外での保育の希望を汲み取り、市外へ依頼することで市民の育児と就労等の活動の両立を支援することができた。	
事業の評価				
B(概ね順調に取り組んでいる)			民間保育施設の新設や定員の増員に加え、保育施設の年齢別空き状況等を積極的に情報提供した。	
<前年度評価> B			また、市外の保育施設を希望する児童に関する相談や委託先市町村との協議を行った。	
認識した課題			課題解決に向けた対応	
入園を希望する保護者に対し、可能な限り多くの選択肢を提供していく必要がある。			窓口の申込受付では、今後も保護者からの希望を踏まえ、適切な情報提供を行っていく。	

52	事業名	学童保育室運営	所管課所	青少年課
男女共同参画の視点からの事業目的			手段	
市民の育児と他の活動との両立を支援する。			保護者が就労等により昼間家庭にいない小学校に就学している児童に対して、適切な遊び及び生活の場を提供し、その健全な育成を図るため、指導員による学童保育を運営する。	
事業の実施内容				
市内52か所の学童保育室において、保護者が就労等により保育できない児童に対して、放課後の遊びや生活の場を提供した。				
活動実績			取り組みの成果	
【活動指標】 公立学童保育室入室児童定員			【成果指標】 公立学童保育室の利用人数(延べ)	
【目標】 3,275人			【目標】 —	
【達成度】 5(十分に達成できた)			【達成度】 5(十分に達成できた)	
【実績】 3,354人			【実績】 37,642人	
令和5年度は川柳学童保育室において定員の拡大を図った。今後も受入児童の拡充及び保育環境の充実のため、施設整備事業を推進する。			入室を希望する児童が一人でも多く利用できるよう、途中退室や入室辞退により生じた定員の空きに対して入室選考を毎月実施し、受入児童の増加に努めた。	
事業の評価				
A(順調に取り組んでいる)				
<前年度評価> A				
認識した課題			課題解決に向けた対応	
特になし			引き続き、適切に事業を実施する。	

基本目標  
 施策の方針  
 取り組みの方向

Ⅱ 男女が輝き活躍できるまちづくり  
 4 仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）の推進  
 (2) 家庭生活等におけるワーク・ライフ・バランスの推進

【達成度】  
 5（十分に達成できた）：目標値の100%以上  
 4（概ね達成できた）：目標値の80%以上100%未満  
 3（達成まで今一歩）：目標値の60%以上80%未満  
 2（達成は不十分）：目標値の60%未満

53	事業名	父親を対象とした子育て講座の開催	所管課所	児童館コスモス
男女共同参画の視点からの事業目的			手段	
父親に、育児の参画を促進するための意識の啓発を図る。			父親を対象とした子育て講座を開催する。(両親での参加も可能)	
事業の実施内容				
親子で楽しめるミニ運動会遊びを開催。ただし、ひとり親家庭等に配慮し、保護者であれば参加可能とした。				
活動実績			取り組みの成果	
【活動指標】 参加率			【成果指標】 満足度	
【目標】 80%			【目標】 80%	
【実績】 82%			【実績】 100%	
【達成度】 5(十分に達成できた)			【達成度】 5(十分に達成できた)	
募集:各回10組(5回中4回開催) 参加 組(①中止 ②11組 ③10組 ④10組⑤10組 (内訳:父親26人、母・祖母等31人、子ども54人) ※中止理由:大雨の影響で中止 ※当日参加したいとの申し入れがあり、2回目のみ11組参加した			事業後のアンケート結果によると、「とても楽しかった(非常に満足)」と「楽しかった(満足)」の割合が100%だった。	
事業の評価				
A(順調に取り組んでいる)				
<前年度評価> A				
認識した課題			課題解決に向けた対応	
参加をしたことがない父親が参加しやすい環境づくりに努める必要がある。 また、対象年齢の幅が広いため、年齢関係なく楽しめるように工夫する必要がある。			Cityメールや電子申請を活用し、PRIに努めていくことや講師の方と話し合い、内容の検討も行う。	

54	事業名	父親を対象とした子育て講座の開催	所管課所	児童館ヒマワリ
男女共同参画の視点からの事業目的			手段	
父親に、育児の参画を促進するための意識啓発を図る。			父親を対象とした子育て講座を開催する。(両親での参加も可能)	
事業の実施内容				
父子で楽しめる運動遊びや制作等を中心に年9回開催。ただし、ひとり親家庭等に配慮し、保護者であれば参加可能とした。				
活動実績			取り組みの成果	
【活動指標】 参加率			【成果指標】 満足度	
【目標】 80%			【目標】 80%	
【実績】 78%			【実績】 100%	
【達成度】 4(概ね達成できた)			【達成度】 5(十分に達成できた)	
募集:各回12組(9回開催) 参加:85組(①9組 ②8組 ③8組 ④12組 ⑤7組 ⑥10組 ⑦6組 ⑧12組 ⑨13組) (内訳:父親49人 母・祖父母等47人 子ども85人)			事業後のアンケート結果によると、「とても楽しかった(非常に満足)」と「楽しかった(満足)」の割合が100%だった。	
事業の評価				
A(順調に取り組んでいる)				
<前年度評価> A				
認識した課題			課題解決に向けた対応	
事業実施の更なる周知徹底に努める必要がある。			Cityメールや電子申請を活用し、PRに努めていく。	

基本目標	Ⅱ 男女が輝き活躍できるまちづくり	【達成度】
施策の方針	4 仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）の推進	5（十分に達成できた）：目標値の100%以上
取り組みの方向	(2) 家庭生活等におけるワーク・ライフ・バランスの推進	4（概ね達成できた）：目標値の80%以上100%未満
		3（達成まで今一歩）：目標値の60%以上80%未満
		2（達成は不十分）：目標値の60%未満

55	事業名	両親学級の開催	所管課所	健康づくり推進課
男女共同参画の視点からの事業目的			手段	
妊婦とその配偶者に、育児の参画を促進するための意識啓発を図る。			新生児の保育の講義や沐浴実習など、妊娠・出産・育児に関する正しい知識を両親で習得するための講座を開催する。	
事業の実施内容				
1日目:歯科保健講座 2日目:助産師による妊娠中～産後の生活についての講座、妊娠中の栄養講座 3日目:沐浴実習・新生児保育(両親)・妊婦体験(夫) 歯科や栄養に関する資料を配布				
活動実績			取り組みの成果	
【活動指標】 参加人数(延べ)			【成果指標】 満足度	
【目標】 1,400人			【目標】 95%	
【実績】 1,229人			【実績】 98.6%	
募集人数:1360人 密を避け感染症予防しながら安全に参加できる定員数を見直し、令和5年度より募集人数を増やしたことにより、昨年度より参加人数は増加した。			アンケート結果より集計。 参加してよかった回答者数361人/アンケート回答者数366人×100=98.6%	
事業の評価				
A(順調に取り組んでいる)				
<前年度評価> A				
認識した課題			課題解決に向けた対応	
妊娠期から出産・子育ての不安や心配が強く、個別で支援が必要なケースが以前より増加している。			妊娠期から、こども家庭センターなどの関係機関と連携しながら情報共有し、不安の解消ができるよう寄り添った支援を行い、安心して子育てができる環境を整える。	

56	事業名	男性の生活自立能力開発のための講座の開催	所管課所	健康づくり推進課
男女共同参画の視点からの事業目的			手段	
男性の家事などの生活能力向上を促し、家庭内の固定的性別役割分担の見直しを図る。			男性を対象に、調理技術や栄養知識などを学ぶための講座を開催する。	
事業の実施内容				
初心者向けの料理教室を4回開催した。 ・調理のコツや、料理の取り合わせ方などの講話 ・グループで調理実習				
活動実績			取り組みの成果	
【活動指標】 参加率			【成果指標】 満足度	
【目標】 80%			【目標】 90%	
【実績】 81%			【達成度】 5(十分に達成できた)	
参加率＝参加者数／定員×100＝78／96×100＝81% ・開催数 4回 ・参加者数 ①20人 ②20人 ③20人 ④18人 計78人 ・定員 各回24人 計96人			満足度＝満足・ほぼ満足の回答者数／アンケート回答者数×100＝(73+74)／(76+76)×100＝97% ・講話 満足63人 ほぼ満足10人 計73人／4回 ・実習 満足53人 ほぼ満足21人 計74人／4回 ・回答者数 76人／4回	
事業の評価				
A(順調に取り組んでいる)				
<前年度評価> A				
認識した課題			課題解決に向けた対応	
調理技術や栄養知識などを広めるには継続した開催が必要と考える。			今後も継続して開催していく。	